

小野市立図書館だより

夏

2025 年 7 月 15 日
発行：小野市立図書館
第 4 号

中学生に読んで欲しい！おすすめの一冊

小野市立図書館の職員が、中学生の皆さんにぜひ読んで欲しい「おすすめの一冊」を紹介します。
この夏は、新たな本との出会いを楽しんでみませんか。

『星の教室』

著 者：高田 郁
出版社：角川春樹事務所



様々な事情から義務教育を受けられなかった人たちが集う夜間中学校。自身で未来を切り開く生徒たちの真摯な姿勢に胸を打たれます。ぜひ手に取って読んでみてください。

『世界から猫が消えたなら』

著 者：川村 元気
出版社：マガジンハウス



何気ない日常や小さな幸せが今まで以上に大切に感じられます。自分が伝えたい言葉や思いは生きている内にしっかり伝えたい。後悔のないように生きたいと思えるお話です。

『烏に単は似合わない』

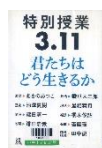
著 者：阿部 智理
出版社：文藝春秋



次期王、若宮の後選びに集められた大貴族四家の姫君たち。それぞれの家の陰謀、彼女たちの胸の内。后となるのは一体誰？最後に肌が粟立つ、新感覚ミステリー。

『特別授業 3.11 君たちはどう生きるか』

著 者：あさのあつこ ほか
出版社：河出書房新社



国語・社会・理科など各分野の先生方から若者に向けて、震災からどう命を守るのか？教訓を活かすにはどう生きるか？など大切なことが沢山書かれています。

『アラビアン・ナイト 上』

編 者：ディクソン
訳 者：中野 好夫
出版社：岩波書店



知っているようで知らないアラビアン・ナイトのお話。思っている話と違うかもしれません。シンドバッドは懲りなさすぎだし、アラジンは一方向的な片思い。

『ガラスの封筒と海と』

著 者：アレックス・シアラー
訳 者：金原瑞人、西本かおる
出版社：求龍堂



ガラスの瓶に手紙を入れて、海に投げる。誰に宛てたでもないそれに、返事が来た。その差出人は、トム父がいるはずの、海の底の死者の国の住人なのだという。

『それいけ！平安部』

著 者：宮島 未奈
出版社：小学館



自分の居場所を自分でつくる物語。葉は「平安部を作りたい」という安以加の熱意に入部を決めるが、新部の創設には部員が5人必要で・・・。

『きのうの影踏み』

著 者：辻村 深月
出版社：KADOKAWA



日常と隣り合わせにある少し不思議で実は怖い「都市伝説」のようなお話。読んでいて何度もゾッとした。「怖い」けれど、「怖いものみたさ」にページをめくる手が止まらなくなる。

『いろいろやりましたが、全力だと壊れます。』

著 者：みやぞん
出版社：双葉社



ポジティブ芸人みやぞんによる、ちょっと笑えて勇気もらえるかもしれないお悩み名(迷)回答集。悩みが尽きない思春期の皆さんにぴったりの本です！

『透明なルール』

著 者：佐藤 いつ子
出版社：KADOKAWA



「人にどう思われるか」を気にするあまり、自分らしくいられない。そんな悩みを持つ主人公が、不登校ぎみの転校生や、クラスメイトとの交流から、自分らしく生きる勇気をもらう、爽やかな物語です。

『トコトンやさしい 相対性理論の本』

著 者：山崎 耕造
出版社：日刊工業新聞社



およそ百年前にアインシュタインによって導かれた相対性理論を、分かりやすく学べる本です。少し難しい部分もありますが、興味のある人はぜひ読んでください。

『蒼穹の昴 上』

著 者：浅田 次郎
出版社：講談社



19世紀末の中国清朝末期を舞台にした、壮大な歴史小説です。貧しい少年が時代に翻弄されながらも、生き抜いていく姿に心を打たれます。

『鏡の国のアリス』

作 者：ルイス・キャロル
訳 者：脇 明子
出版社：岩波書店



「不思議の国のアリス」に続編があるのは知っていますか？今度のアリスは鏡の向こうでチェスのポーンに。はたして女王になれるのか・・・！？ハンプティダンプティも登場します。

へんてこな世界にちぐはぐな会話が面白く、クセになるお話です。

『戦争を知らないキミへ』 戦中編・戦後編

著 者：竹村 逸彦
監 修：大串 潤児
出版社：ポプラ社



1945 年、当時福岡県久留米市の中学生だった竹村逸彦さんが戦時中・後の生活を綴った日記がそのまま本になっています。資料や用語解説もあり、当時の激動の日々や学生の心情が分かります。

『コーヒーが冷めないうちに』

著 者：川口 俊和
出版社：サンマーク出版



とある喫茶店で、特定の席に座ると過去に戻れる。しかし、戻るにはあるルールがあって・・・。ヒューマンファンタジーストーリーです。あなたにも戻りたい過去がありますか？

友達に読んで欲しい！おすすめの一冊

6 月のトライやるウィークで、図書館に来てくれた皆さんにもおすすめの1冊を教えてくださいました。

『ぼくらの七日間戦争』

作 者：宗田 理
出版社：ポプラ社



中学1年生の菊池英治や相原徹たちクラスの男子全員が、廃工場に立てこもり、大人たちと戦う物語。子どもは読んで爽快。大人にも親のあり方を考えさせるお話です。

『給食アンサンブル』

著 者：如月 かずさ
出版社：光村図書出版



部活や恋愛、転校など中高生なら誰もが一度はもつ悩みが、それぞれの人物の視点で描かれています。本当の気持ちを給食が教えてくれる心温まるアンサンブルストーリー。

『ひゃっか！』

著 者：今村 翔吾
出版社：文響社



「高校生の花いけバトル」。即興で花をいける、5 分間の勝負。高校生たちの花にかける純粋な思いが煌めく、極上の青春小説です。

『ウェルテルタウンで やすらかに』

著 者：西尾 維新
出版社：講談社



小説家の主人公は安楽市の町おこしで小説を書くことに。だが、町おこしコンサルタントは安楽市を自殺名所にしようとしていて・・・。重いテーマでもそれを感じさせないくらい面白い一冊です。

『すごすぎる色の図鑑』

著 者：ingectar-e
出版社：KADOKAWA



「信号は緑色なのになぜ青信号と呼ぶの？」不思議ですよ。色が見えるしくみや色による面白い目の錯覚など、色のひみつが分かりやすく紹介されています。

『5 分後に意外な結末 ex エメラルドに輝く風景』

編 著：桃戸 ハル
出版社：学研プラス



約 5 分で読める話がたくさんのっており、暇なときにすぐ読めるので忙しい人にもおすすめの本書です。シリーズ本になっています。他の本も読んでみてください。

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を 40 上げて慶應大学に現役合格した話』

著 者：坪田 信貴
出版社：KADOKAWA



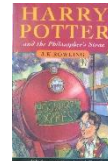
初めは学年ビリだったさやかちゃんが慶應大学に合格すると宣言し、1 年間勉強に全力で打ち込んで合格できた。僕（塾講師）の心理学をもちいた教育メソッドとさやかちゃんの努力のお話です。

図書館館長おすすめ本
是非読んでみてね。



『HARRY POTTER and the philosopher's stone』 ハリーポッターと賢者の石 (原書)

著 者：J.K.Rowling
出版社：Bloomsbury



ハリーポッターは、誰もが知るベストセラーだけあって内容の面白さは間違いなし。日本語版を先に読んだり、映画を観たりすることで洋書版の難易度は一気に楽になります。辞書を片手にトライしてみましょう。

☆おしらせ☆

8 月は、図書館 2 階の自習室を毎日開放しています。

他の人がいる空間やいつもと違う環境で勉強することで、モチベーションが上がったり、受験本番の雰囲気を感じたりすることができるので、勉強方法の一つとしてご活用ください。

小野市立図書館

小野市中島町 64 番地
TEL:0794-62-0456

【8 月の開館時間】 9 時～18 時（7 月中は、10 時～18 時）

【7・8 月の休館日】 7/22（火）、8/16（土）、8/17（日）

所蔵検索もできる！
小野市立図書館 HP は
こちらから→

